

プレクラス(拠点校)とブロック別集中校システムとの連携による指導・支援体制の整備

【課題】

太田市の外国人児童生徒は年々増加し、多国籍化している。日本語が理解できないまま、小・中学校への入学を希望する外国籍児童生徒に対し、受入体制と指導体制を整備する必要がある。

1. 小学校入学前の児童と保護者を対象としたプレスクール

プレスクール

～就学前の外国籍児童と保護者へのサポート～

①参加希望者数 R5 18名

②活動内容

〈外国籍児童に対する〉

・日本語指導

・学校生活への適応指導

〈保護者に向けて〉

・母語による情報提供

※プレクラスアドバイザー

母語が分かれる支援員による

市内幼稚園・保育園と連携

4. 就学時健診前の事前調査及び電話連絡

母語が分かれる支援員による電話連絡

①対象者数 R5 121名

②活動内容

・就学意思の有無の確認
・就学時健診の連絡 等

プレクラス(拠点校)の初期指導を終えた児童生徒と保護者によるアンケートによる評価
(肯定的評価90%)

【実施事業の概要】 ※実施事業すべてを支援事業の対象とする

1. 小学校入学前の児童や保護者を対象としたプレスクール
2. 拠点校の設置等による指導体制の構築
3. 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
4. 就学時健康診断前の事前調査及び電話連絡
5. 多言語による高校進路ガイダンスの実施

市教委による
指導・助言

2. 拠点校の設置等による指導体制のモデル化

初期指導教室 プレクラス(拠点校)

～初期指導計画に基づく日本語指導と学校への適応～

①構成員

※アドバイザー1名

※母語が分かれる支援員(日本語指導員)4名
(ポルトガル語2・スペイン語1・タガログ語1)

②通級者数

・R5 39名

③活動内容

- ・児童生徒への日本語の初期指導(40日間)
- ・学校への適応指導
- ・保護者ガイダンス
- ・非集中校への巡回指導

3. 「特別の教育課程」による日本語指導の実施

市内小・中・義務教育学校41校を 8ブロックに

集中校 (国際教室設置校)

①校数及び教員数

小学校24校中11校 中学校16校中5校

義務教育学校1校中0校

国際教室担当教員 24名

※母語が分かれる支援員 24名

(バイリンガル教員6名・日本語指導員19名)

②日本語指導が必要な児童生徒数 R6 531名

③指導内容

○「特別の教育課程」による個別の指導計画作成

○「特別の教育課程」に基づくきめ細かな指導

○取り出し指導(日本語)

○入り込み指導(各教科等)

5. 多言語による進路ガイダンスの実施

～外国人生徒のよりよい進路の実現～

①対象者 市内の小中学生と保護者

②活動内容 多言語による高校進路ガイダンス

非集中校

編入可

「特別の教育課程」による
個別の指導計画作成 (達成率100%)
個別の指導計画目標達成 (達成率80%)

中学3年生の高校進学
(進学率90%)